

種類別明細書(増加資産・全資産用)

記載例

※ 所有者コード		2 2 2 1 5 1		1 枚のうち		1 枚										
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数 量	取得年月		取得価額 (イ)	耐用年数	減価残存率 (ロ)	価額 (ハ)		課税標準の特例 率		課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年月				十億	百万	千	円			
01	1		野立看板(金属造)	1	5	○ 6	10500000	20	0.					1・2 3	RO 申告もれ	
02	1		従業員駐車場塗装工事	1	5	○ 9	20000000	10	0.					1・2 3	RO 申告もれ	
03	2		ブルドーザー	1	5	□ 6	25000000	2	0.					1 3・4	中古取得	
04	6		陳列ケース	1	4	◎ 3	24000000	8	0.					1・2 3・4	B市から	
05	6		無線LAN	1	5	□ 10	20000000	10	0.					1 3・4		
06									0.					1・2 3・4		
07									0.					1・2 3・4		
08									0.					1・2 3・4		
09									0.					1・2 3・4		
13									0.					1・2 3・4		
14									0.					1・2 3・4		
15									0.					1・2 3・4		
16									0.					1・2 3・4		
17									0.					1・2 3・4		
18									0.					1・2 3・4		
				小計												

<資産の名称等>
資産の名称及び規格等を漢字、カタカナ、英数字、記号等で30字以内に要約して記載してください。

<資産の種類>
「1構築物(建物附属設備を含む)」、「2機械及び装置」、「3船舶」、「4航空機」、「5車両及び運搬具」、「6工具、器具及び備品」に分類し、該当する1から6までの番号を記載してください。

<取得年月>
資産を実際に取得した年月を記載してください。元号は昭和が3、平成が4、令和が5です。

<耐用年数>
当該資産の耐用年数を記載してください。なお、中古資産で見積もり耐用年数による場合は、その耐用年数を記載してください。

<取得価額>
当該資産の取得価額を記載してください。なお、取得価額とは償却資産を取得するために通常支出すべき金額をいい、据付費、運送料、手数料、関税等当該資産を事業の用に供するために直接要した費用を含みます。

<増加事由>
「1新品取得」、「2中古品取得」、「3移動による受入」、「4その他」のいずれかを○で囲んでください。「4その他」の場合はその事由を「摘要」欄に記載してください。
なお、「3移動による受入」とは他市町村で使用していた償却資産を御殿場市内で使用するようになった場合で、取得年月は市内へ移動した年月ではなく、取得した年月を記載してください。

<摘要>
課税標準の特例が適用される資産については、その旨を「摘要」欄に記載してください。
その他、当該資産の価格の決定にあたって必要な事項を記載してください。
※申告漏れ資産は過年度に遡り課税することがあります。

注意 「増加事由」の欄は、1新品取得、2中古品取得、3移動による受入れ、4その他のいずれかに○印をつけて下さい。